

## 北九州市立総合農事センター 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和4年10月17日(月) 13:30~17:00
- 2 場 所 北九州市立総合農事センター バイテク棟2階会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 廣川構成員(座長)、松木構成員、松永構成員、  
小清水構成員  
(事務局) 山本総合農事センター所長、田中園芸係長、  
総合農事センター担当職員

### 4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
  
- 応募団体【総合農事センター共同事業体】より提案概要に関してヒアリング  
(構成員) 北九州みらいキッズプロジェクトの実績を教えてください。  
(応募団体) 北九州みらいキッズプロジェクトを始めて、1年7か月になる。  
幼稚園で実施したものは6回あり、他にもセントシティや若松ボートレース場で実施したものを含めると15回、延べ人数で約600名の参加実績がある。  
(構成員) 以前近隣の長野緑地にキッチンカーを呼んで、子どもたちからも好評だった。イベントの際などキッチンカーを呼ぶことは考えているのか。  
(応募団体) 構成企業の中にキッチンカーの経営をしているところがある。また、他のキッチンカー経営者とも横のつながりがあるため、曜日ごとに色々なキッチンカーを呼ぶことも可能である。  
(構成員) SDGsを前面に押し出しているが、集客についてどの層をターゲットにしているのか。  
(応募団体) SDGsを用いた学びの場の提供というのは、今後継続していこうと考えている。  
また、SNSを利用したものとチラシのポスティングによって集客を図ろうと考えている。  
そのほか、イベントを定例化することで集客できると考えている。  
構成企業のなかに市内でイベントを月に1回実施しているところがあり、毎回あらゆる年齢層の人に来てもらっている。このようなイ

バントを実施することで、新たな客層を獲得できると考えている。総合農事センターは、小倉方面では知名度が高いが、八幡方面での知名度は低いので、まだ伸びしろがあると考えている。

(構成員) 指定管理業務の実績がないが、取り組むうえでの課題感はどう考えているか。

(応募団体) 構成企業4社とも指定管理業務の経験はないが、関わりのある企業に指定管理業務経験のある企業があり、アドバイスをもらっている。また、管理責任者として業務経験のある人材の採用や指定管理専門のアドバイザーの就任についても内諾を貰っている。

確かに指定管理業務については経験がないが、助言いただいた内容から十分運営できると考えている。

(構成員) 農事センターの運営方針として「農業の振興」があるが、農業分野での専門家はいるのか。

(応募団体) 構成企業ではないが、株式会社ニチリウ永瀬が協力企業として関わってくれることになっている。ニチリウ永瀬は福岡市に本社を置く会社で、農業製品の製造、販売のほかに農業のイベントなども実施している企業で、農業に関するノウハウを全て保有しており、専門家として十分だと考えている。

(構成員) 公園管理をしていくうえで、正規職員6名、パート3名、その他2名の人員としているが、問題ないと考えているのか。

(応募団体) 公園管理の経験がないので、人員が足りるかどうかは不明な部分がある。

(構成員) 植栽管理費として予算が200万円になっているが足りると考えているのか。

(応募団体) これに関しても、近年の物価高騰のこともあり不明な部分がある。そのため、構成企業4社で1,000万円の基金を設置しており、不測の事態に備えている。

○ 応募団体退出後に各構成員が採点

○ 応募団体【ワールドミクニ共同事業体】より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 年々来場者数が増加していく計画になっているが、今後新型コロナウイルスのような感染症の流行など不測の事態が発生した場合、目標が達成できなかった時のリスクマネジメントなどはどう考えているのか。

(応募団体) 来場者数は北九州市の「北九州市農林業振興計画」に令和9年度に総合農事センターの来場者数を40万人にするというものがあり、それを順守する形の計画にしている。不測の事態があったとしても、問題ないような予算組みをしており、経費が予想を上回ったとしても、我々の企業は財政基盤がしっかりしているので十分に対応できると考えている。

(構成員) シルバニアファミリーやカピバラ温泉などレジャー感を前面に出し

た計画になっているが、農業振興とどういふふうに結び付けていくのか。

(応募団体) 我々は他にも農業公園を管理しているが、なかなか農業振興だけで新しい客層の集客をすることは難しいと考えている。レジャーとして家族連れなどを集客し、リピーターとして農業の部分に触れるイベントなどに来てもらって知識を深めてもらいたいと考えている。

(構成員) 近代農業の知識を持った人材はいるのか。

(応募団体) 他の農業公園を管理しているので、農業の専門家は豊富に有している。ただ、学識経験者のように近代農業についての知識が深い人はいないので、我々の企業が有している大学とのコネクションを利用しながら連携してやっていこうと考えている。

(構成員) 令和4年度指定管理者評価シート(多段階評価)に「過年度の設備点検業務の不足や会議室等の施錠や清掃状況については、度々指摘しており、適正な施設管理が課題となっている。また、職員が欠員した際に、速やかに同等の人員の配置ができておらず、安定的な施設維持・管理の継続について不安が生じている。」という文言があるが、今後5年間の対策などはあるのか。

(応募団体) 指摘された内容については、職員に周知し園内巡回の強化やダブルチェック体制の確立などで対策を講じている。今回の事業計画では、評価シートの結果を踏まえて不足していた部分に人員を増やしカバーしていこうと考えている。

(構成員) 自主事業の収支計画について、事業計画では目標の来場者数に過去の平均単価を掛けているようだが、これは納得のいく数字なのか。

(応募団体) 来場者数の目標は北九州市が立てている目標をベースにしており、36万人から5年で10%上げていくような計画にしている。そのためにレジャー感のある取り組みを行って、目標を達成していくつもりである。

(構成員) 施設の老朽化についてどのように考えているのか。

(応募団体) 設備の事前点検を行って、壊れたら直すではなく事前に部品の交換などを行って壊れるのを防ぐようにしたいと考えている。修繕費については毎年300万円予算計上している。これについては、市と協議して、どのように使っていくかを検討したいと考えている。

(構成員) 老朽化について現時点で問題のある箇所はどこを考えているのか。

(応募団体) 駐車場からのスロープを上がっていくところのブロックの浮き上がりを始め、来園者の足元が不安定なところがあるので、その安全を確保したいと考えている。

○ 応募団体退出後に各構成員が採点

○ 審査項目「指定管理者の適正」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 「管理運営の理念」については、どちらの団体も幅広い客層の集客

が期待でき、基本方針である「憩いの場の提供」に関して大いに期待できるため、総合農事センター共同事業体、ワールドミクニ共同事業体共に4点とする。

(構成員) ワールドミクニ共同事業体は、現在より人員を増やし対応しているため、「人的・財政基盤」については4点とする。

(構成員) ワールドミクニ共同事業体は、現指定管理者であり、他施設でも維持管理業務を行っているなど実績を有しているため、「実績・経験」については4点とする。

- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 「施設の設置目的の達成に向けた取り組み」について、新たな客層の獲得のため、今までになかった取り組みを実施する計画となっており、高い集客効果が期待できるため、総合農事センター共同事業体、ワールドミクニ共同事業体共に4点とする。

- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) ワールドミクニ共同事業体は、自主事業で発生した利益を指定管理収入に繰り入れて収益の安定を図っており、「指定管理料及び収入」については4点とする。

- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 総合農事センター共同事業体は、緊急対応マニュアルの作成やAEDカードの携帯など危機管理体制の整備が優れているため、「管理運営体制」を4点とする。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

**【総合農事センター共同事業体】**

(構成員) 新たな化学反応により面白い取り組みが期待できる。

(構成員) 色々な業種が集まっている共同事業体なのでポテンシャルは高いと感じる。

(構成員) 防災対策やAEDのマニュアル化などが出来ている。

(構成員) 提案された新規事業においては魅力的ではあったが、これまでの指定管理業務の実績がなく懸念がある。

**【ワールドミクニ共同事業体】**

(構成員) 新たな取り組みによる集客性が期待できる。

(構成員) 自主事業で発生した利益を指定管理収入に繰り入れて収益の安定化を図っている。

- (構成員) 現在よりも人員を増やし維持管理に対応する予定である。
- (構成員) 現在の指定管理業務では提案内容が未達成になったものはあるが、新型コロナウイルスという不測の事態が主な要因であり一定の実績を上げていると評価できる。
- (構成員) 維持管理に関して、しっかりしたマニュアル等を作成し、ミスの生じない体制づくりを望むとともに、基本方針となる農業振興を積極的に励んでもらいたい。

○ 構成員は、次のとおり検討会としての検討結果を取りまとめた。

総合農事センター共同事業体は、色々な業種が集まっている共同事業体であり、その化学反応により面白い取り組みが期待できる。また、緊急対応マニュアルの作成やAEDカードの携帯など危機管理体制の整備が優れているといえる。しかし、これまでに指定管理業務や公園の維持管理の経験を有しておらず、適正な管理業務について懸念がある。

ワールドミクニ共同事業体は、現在の指定管理業務で提案内容が未達成になったものはあるが、新型コロナウイルスという不測の事態が主な要因であり一定の実績を上げている。また、管理運営について指摘された事項に対し、人員を増加し対応している点、自主事業で発生した利益を指定管理収入に繰り入れる点など、公園の維持管理や収益面で安定化を図っていることも評価できる。今後は、維持管理に関して、しっかりしたマニュアル等を作成しスタッフに間違いなく履行させる、ミスの生じない体制づくりとともに、イベントに参加した来場者を総合農事センターの基本方針である農業振興に繋げる工夫を期待する。

審査の結果、検討会としてはワールドミクニ共同事業体が総合農事センターの指定管理者候補に相応しいと考える。

○ 最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。